

令和4年度 第3回沖縄県観光振興基金検討委員会の議事概要

1 開催日時 令和4年12月26日（月） 14:00～16:00

2 開催場所 沖縄県庁 6階第2特別会議室

3 出席委員 別紙のとおり

4 議題

沖縄県観光振興基金の活用事業について（令和5年度当初予算）

5 意見交換

沖縄県観光振興基金活用事業、その他基金活用に関して、委員から次のような発言があった。

<R5当初予算事業について>

- 先日、内閣府から来年度の一括交付金がマイナス4億円との内示があった。今後ますます観光振興基金が重要になってくると思う。
- 観光人材確保にかかる取組について、国内の人材を対象にするということも必要と思うが、喫緊の対応として、日本語レベルN1、N2をもっている隣国の海外人材のマッチング等を検討してほしい。
- 文化芸能にかかるイベント等の取組について、観光客に魅力的に沖縄文化を見せるためには、プロデューサーや演出家が不可欠であるため、そういった役割の人材も入れて取り組んでほしい。
- 空手の取組に関連して、武道ツーリズムの推進については、コンテンツの造成や、指導者が観光客を受け入れられる体制の構築には工夫が必要と考える。
- スポーツのコンテンツ実証にかかる取組について、どのようなプログラムをすれば富裕層が来るのか等も調査しながら事業を検討してほしい。
- 事業効果の測定の仕方も工夫が必要。

<その他>

- 観光人材の育成について、民間だけでなく、行政にも観光のエキスパートが必要であり、沖縄全体のブランディングや稼ぎ方等、一体的に考えられる人が必要。
- 文化に携わっている人材はたくさんいるが、「文化観光」という観点で仕事をしている人が少ない。韓国などでは文化と観光の両方の教育を受けている人がたくさんいる。民間も行政もそういう人材育成ができるようにするとともに、文化と観光をつなぐ場があればいいと思う。

沖縄県観光振興基金検討委員会（第3回）委員出欠状況

	種別		所属・職名	氏名	第3回 出欠
1	有識者(観光)		琉球大学国際地域創造学部 観光社会学研究室 教授	越智 正樹	出席
2	有識者(環境)		琉球大学名誉教授	伊澤 雅子	欠席
3	観光関連団体	旅行業	(一社)日本旅行業協会 理事	東 良和	出席
4	観光関連団体	宿泊	(一社)宿泊施設関連協会 沖縄支部副支部長	高倉 直久	出席
5	観光関連団体	交通	(一社)沖縄県バス協会 専務理事	慶田 佳春	出席
6	観光関連団体	観光施設	(一財)沖縄美ら島財団 専務理事	湧川 盛順	出席 オンライン
7	その他	文化	(同)琉球芸能大使館 代表	富田 めぐみ	出席
8	その他	スポーツ	名城大学大学院 国際文化研究科 スポーツ健康学科 教授	平野 貴也	出席 オンライン